

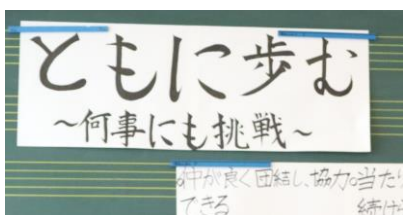
# 広見



令和4年度  
3月1日発行  
知立中学校校長

## 卒業おめでとう ～強い心としなやかな心～

令和5年3月7日(火)に予定されています第76回知立中学校卒業式までいよいよ1週間ほどとなりました。3年生の皆さんの心境はどうでしょうか。

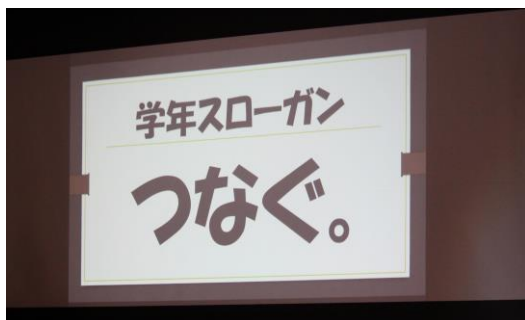


3年生の皆さんが知立中学校に入学したのが令和2年4月。その頃、新型コロナウイルス感染症への警戒が高まり、1カ月半ほどの学校休業を余儀なくされました。期待と希望を胸に入学したとたん学校が休業となり、戸惑いも大きかったのではないのでしょうか。あれから、3年が経ち、少しずつ新型コロナウイルス感染症への対応が変わってきました。そして、いよいよ中学校卒業です。

現在、マスコミ等でも取り上げられているマスク着用問題。3年生にとっては、3年間マスク生活を強いられ、今では、当たり前のように着用しています。それとともに、教科指導、学校行事などに感染対策として多くの制限が生まれました。そのような中でも、可能なことを探し、形を変えるなど工夫をし、少しでも有意義な中学校生活となるよう学校全体で考えてきました。新型コロナウイルス感染症に翻弄された3年間ではありましたが、3年生の皆さんの気持ちのもちようや前向きな行動によって少しでも有意義な中学校生活だったと思ってもらえれば幸いです。

さて、これからの世の中は、新型コロナウイルス感染症のように予測不能なことが起こったり、更なる科学や技術の進歩によって大きく変わったりするであろうと思われまます。そうした変換の時期には、多くの壁が立ちふさがり、社会全体として、また、個人としてその壁を乗り越えていかなければならないと思います。

ことわざの中に、「堅い木は折れる」というものがあります。この意味は、堅い木は頑丈ですが、柔らかい木のようにしなやかではないため、強い風が吹けば、かえって折れやすいということを言っています。このことを人間に例えてみると、強情で柔軟性のない人が、いったん気力を失ったり、難題にぶつかると、意外にもろく、くじけやすいものだということとなります。更には、堅くてもしなやかでもそれを支える根っこがしっかりと張られていないと強い風には耐えられません。根っこは、地上で全てを見ることができません。つまり、根っこは形としてみることでできない人の心のあり方だと思います。どの様に根っこを張っていくかはその人次第です。根っこをしっかりと張ることは、自分自身を正しく理解し、強い心をもつことです。そうすることで困難なことに会ったときや苦しいときなどに倒れない自分をつくることにつながります。そして、その上で柔軟なものの考え方や相手の気持ちを理解できるようなしなやかさが、生きていく上で大切なことではないでしょうか。これからの社会の変化は、先にも述べたように、今までにない新しい技術が



注目されるなど大きくしかもますますスピードを増すものと思われまます。だからこそ、根っこをしっかりと張り、強い心としなやかな心をもつことであらゆる変化に柔軟に対応し、困難や難題に打ち勝って欲しいと願っています。

保護者の皆様並びに地域の皆様には、コロナ禍の学校並びに生徒たちを陰から支え、励ましていただき誠にありがとうございました。

3月7日(火)、コロナ禍の3年間を知立中学校で過ごした3年生が、本校を卒業していきます。まだまだ未熟な点の多い生徒たちを今後も、保護者、地域の皆様で温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

